

## 一般社団法人 奈良県臨床検査技師会 2023 年度定時総会議事録

開催日時：2023 年 5 月 28 日（日）10:00～11:00

開催場所：天理よろづ相談所病院本館 7F 講堂

会員数：702 名（5 月 31 日現在）

出席者：475 名（当日出席者 26 名、委任状による出席者 449 名）

欠席者：227 名

### I 仮議長挨拶

嶋田事務局長から議案書の訂正について、資料 2 頁総会次第、議案審議（6）第 7 号議案を第 6 号議案に訂正との説明があった。その後、議長が選出されるまで仮議長を担当する旨、挨拶があった。

### II 開会の辞

森嶋副会長が、2023 年度一般社団法人奈良県臨床検査技師会定時総会を開催する旨、宣告した。

### III 会長挨拶

倉田会長から、昨年新理事体制となり、コロナ感染症対策のため断念した事業もあったが、Web による学術活動を行ってきた。5 月 8 日からコロナウイルス感染症が 2 類から 5 類に移行し、更に活発な技師会活動を行っていけないのではないかと期待している、と挨拶があった。

### IV 来賓の紹介と挨拶

嶋田事務局長から本年度は来賓の方の出席はないと報告があった。

### V 議長選出

仮議長から議長候補について出席者に自薦、他薦を求めるも候補はなく、事務局が松下陽子（天理よろづ相談所病院）、辻野秀夫（奈良県総合医療センター）の二氏を推薦し、拍手多数にて承認され議長就任の挨拶の後、議事に入った。

### VI 議事

#### 1. 総会役員選出

松下議長から総会役員候補について出席者に自薦、他薦を求めるも候補はなく、議長に一任となり事務局から推薦するようとの指示があり、下記の会員が推薦され拍手多数にて承認された。

[資格審査委員（兼議事運営委員）]

木下真紀（天理よろづ相談所病院）資格審査委員長兼議事運営委員長

勝山政彦（大和高田市立病院）  
中田恵美子（奈良県総合医療センター）  
阿部教行（天理よろづ相談所病院）

[書記]

潮崎裕也（天理よろづ相談所病院）  
岩崎弘希（天理よろづ相談所病院）

## 2. 総会成立の宣言

木下資格審査委員長から、本日の出席者数 475 名（出席者 26 名、委任状出席者 449 名）で正会員数（702 名）の過半数に達しているため、総会が成立するとの宣言があった。

## 3. 議案審議

### (1) 第 1 号議案：2022 年度事業経過報告について

松下議長から、2022 年度事業経過報告について一括報告後に質疑を求めるとの説明後、各担当理事から議案書に沿って説明があった。

#### ① 総括：倉田会長

2022 年度も新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、各事業においてほとんど対面で実施することができず Web を用いての事業展開となった。奈良県医学検査学会は 2 年連続 Web 開催となった。タスクシフト/シェア厚生労働大臣指定講習会を 4 回開催し 227 名が講習を修了した。臨地実習指導者講習会が近畿支部で 2 月に開催された。奈臨技ホームページの求人情報掲載に 36 件（うち県外 15 件）の掲載依頼があった。学術主催の研修会は Web を利用しての開催により全国からの参加者もあり、主催者にとっては励みになる一面も見られたことなどの報告がなされた。

#### ② 事務局 総務部：嶋田事務局長

議案書に基づき要旨の説明があった。2022 年度の定時総会を 2022 年 5 月 29 日に開催した。理事会は原則月 1 回全て Web で開催し事業を遂行した。庶務部会は事務局の実務を担当し、主に奈臨技ニュース、会誌「まほろば」等を会員へ配布した。奈臨技 Web サイトへのアクセス人数は 12,599 名あり、携帯電話からのアクセスが約 6 割であった。関連団体会議としては、当会の会員である勝山氏が日臨技の執行理事・近畿支部の支部長等を務め、健康づくり財団には会長および副会長が役員として参加したことが報告された。

#### ③ 事務局 経理部：上杉経理部長

議案書に基づき財政の適正化、財務・税務会計の維持について説明がなされた。

#### ④ 組織法規部：西原組織法規部長

技師会普及活動のため、奈臨技会員のための研修会を開催したこと、施設代表者・連絡責任者会議を企画検討中であることが報告された。

- ⑤ 学術部関係：森嶋副会長、小泉学術部長、中村精度管理担当部長  
学術理事は4名体制で活動しており、検査研究部門、精度管理推進部門、生涯教育研修部門のそれぞれに担当理事を配置し、学術担当副会長を加えて、それぞれの委員会を中心とした活動を行った。

検査研究部門は検査研究部門及び分野を通じての研修会と、日臨技学会運営に協力し第72回日本医学検査学会に座長候補を推薦した。また、第39回奈良県医学検査学会を企画・開催し、優秀な演題に対し会長賞・学術奨励賞を授与した。精度管理推進事業は2022年度奈臨技精度管理調査を実施し、参加施設数は59施設であった。2022年度年度奈臨技精度管理調査事業報告書は従来の紙媒体およびデータCD-ROM添付による報告書発行形式を廃止し、PDF形式による電子ファイル発行とし、奈臨技ホームページに掲載することとした。これにより報告書発行費用の削減ができたこと、社会貢献事業の一環として県民が閲覧可能となったことがメリットとして報告された。

生涯教育研修部門は日臨技に奈臨技学術部が開催する生涯教育研修会の登録を行い、生涯教育研修会制度単位登録を申請した。

基礎研修会はWebにて2回開催したことの報告があり、第1回の開催日時を2023年1月18日に訂正することの説明があった。

臨床検査データ標準化委員会、精度保証施設認証委員会は長期精度管理調査を実施し参加施設は23施設と増減はなかった。また、LD、ALPの測定方法変更に伴い、変更後の「IFCC法への移行に関するアンケート」の結果を日本医療マネジメント学会第16回奈良県支部学会において報告した。日臨技精度保証施設認証施設は13施設で前年度から2施設減少したことなどが報告された。

- ⑥ 渉外部：高木渉外部長  
新型コロナウイルス感染症の流行により、県民および会員を対象とした講演会を開催できていなかったが、オンラインを活用した開催を検討した。その結果、3月19日に医療法人康仁会西の京病院 今井崇裕先生による公開講演会をYouTubeにて開催し、視聴回数は232回で県外からも参加があり好評であったことが報告された。

- ⑦ 地域保健事業部：西川地域保健事業部長  
コロナ渦により、県民への生活習慣病の予防や健康への啓発を目的とした県内の地方公共団体及び医療関係協会が行う行事の開催が相次いで中止となった。この為、地域保健事業部の活動を行うことが困難であったことが報告された。なお、奈臨技ホームページに臨床検査技師求人情報の掲載を引き続き行っていることが報告された。

- ⑧ 公衆衛生関連：大西公衆衛生担当理事  
コロナ禍の為、がん撲滅のための検査展・検査相談コーナーが中止となったことが報告された。
- ⑨ 福利厚生部：三角福利厚生部長  
日臨技賠償責任保険（リンクス）に関する取り扱い業務を行った。アウトドア同好会、ボウリング同好会は新型コロナウイルスの感染拡大を受け中止としたことが報告された。
- ⑩ 広報部：小林広報部長  
会誌「まほろば」を1回、および奈臨技ニュースを月1回定期的に発行したことが報告された。
- ⑪ 地区担当部：山本地区担当部長  
入会案内及び会員の異動並びに会員の慶弔について事務局と連携し対応した。施設代表者会議と合同で施設連絡責任者会議を行う予定であったが、コロナ禍のため施設代表者会議が中止となったことなどが報告された。

以上、各部局の事業経過について説明を受けたのち、松下議長から第1号議案について質問を求めたが質疑なく、議長は拍手による承認を求め、拍手多数をもって承認された旨、宣告した。

(2) 第2号議案：2022年度決算について

松下議長は、2022年度決算について経理部長に説明を求めた。

2022年度決算報告：上杉経理部長

議案書に基づき、貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記、財産目録について説明があった。

2022年度決算について説明を受けたのち、松下議長から第2号議案について質問を求めたが質疑なく、議長は拍手による承認を求め、拍手多数をもって承認された旨、宣告した。

(3) 第3号議案：2022年度監査報告について

松下議長は、監事に2022年度監査報告を求めた。

2022年度監査報告：吉岡監事

2022年度事業及び会計について監査を実施し、事業計画等を円滑に遂行し、会計収支に不正がないことを認める説明があった。

説明の後、松下議長から第3号議案について質問を求めたが質疑なく、議長は拍手による承認を求め、拍手多数をもって承認された旨、宣告した。

(4) 第4号議案：2023年度事業計画案について

辻野議長から、2023年度事業計画案について一括説明後に質疑を求めるとの説明後、各担当理事から議案書に沿って説明があった。

① 総括：倉田会長

事業計画は、例年通りの事業と大きく変わりはないが、日臨技事業の柱である3つの事業を奈臨技として展開する。新型コロナウイルス感染症が5類になるのを期に、対面での講習会を再開しWeb講習会も引き続き実施していく。奈臨技の会員数も約700名であり、事業活動、規約の見直し、他団体との交流と情報交換を行い病院内での地位向上につながる活動を行うことなどが説明された。

② 事務局 総務部：嶋田事務局長

今年度は執行部2年目となる。より活発な議論、運営を進めていく。総会の開催、理事会の定例開催、各種委員会・会議を開催する。奈臨技ホームページへのアクセス数が増えている。IT委員会と共同してホームページをより充実したものにできるよう取り組む。日臨技との協力その他情報の発信について、奈臨技ニュース、ホームページ、メールを使ったリアルタイムな情報発信に努める。施設の求人情報の掲載は保健事業部と共同し継続して行っていくなどの説明があった。

③ 事務局 経理部：上杉経理部長

会費や助成金などの収入と相応なバランスに注力し、事業に適正に活用されるよう進捗管理していく。一般社団法人の公益目的事業費用規模の維持・継続に努めることが説明された。

④ 組織法規部：西原組織法規部長

会員加入促進、施設代表者会議の開催、奈臨技会員の為の研修会の開催、定款・諸規定、個人情報保護規定などを、必要に応じて各部での事業遂行上制定すべき細則の整備を行うなどの説明があった。

⑤ 学術部関係：森嶋副会長、小泉学術部長、中村精度管理担当部長

検査研究部門運営、精度管理推進事業、生涯教育研修事業の3事業に担当を大別し、運営を行う。

検査研究部門の運営は、検査研究部門運営委員会が中心となり、日臨技推進事業を最大限開催できるように取り組む。新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、Web開催とともに現地開催や実技講習会の実施再開を検討する。2023年度奈良県医学検査学会は、テーマを『臨床検査技師の未来を共に歩む』とし、特別講演、一般演題の発表を行う。

精度管理は2023年度も日臨技のシステムを利用し、評価項目を増やす方向で考えている。

生涯教育研修事業は基礎教科研修会を開催予定である。データ標準化や精

度保証施設認証に関する日臨技からの情報を発信し、啓発活動を行うことなどの説明があった。

⑥ 渉外部：高木渉外部長

公開講演会で、専門家の立場から正しい医学情報を一般の方々に提供し予防医学の普及・啓発を行うため、情報発信方法を検討中であることが説明された。

⑦ 地域保健事業部：西川地域保健事業部長

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付け変更後、地方公共団体や他の医療団体などが主催する公益事業の再開が見込まれる。参加要請があれば積極的に参加・協力し、県民への臨床検査啓発活動を推進する。また、奈臨技ホームページから臨床検査技師求人情報を発信し、円滑な病院運営の一助を担っていくことが説明された。

⑧ 地域保健事業部 公衆衛生関連：大西公衆衛生担当部長

日臨技公益事業として、がん撲滅のための検診受診の啓発、STI 予防など国民の健康づくりに貢献する。検査体験を通して健康づくりへの意識高揚を図るとともに、臨床検査の世界や臨床検査技師に興味を持っていただけるような催しを開催することが説明された。

⑨ 福利厚生部：三角福利厚生部長

レクリエーション等の活動および学会・研修会等に安心して参加できるように、必要に応じ傷害賠償保険に加入することと同好会の活動を助成していくことが説明された。

⑩ 広報部：小林広報部長

会誌「まほろば（会員名簿統合）」と「奈臨技ニュース」の発行を行なうことが説明された。

⑪ 地区担当部：山本地区担当部長

理事会と会員および会員施設間の「情報の相互伝達」の役割を担い、必要な案件を処理する。また、各施設（施設連絡責任者）へ各種委員会委員や奈臨技事業における、実務委員・役員の推薦依頼を行なうことが説明された。

以上、各部局の事業計画案について説明を受けたのち、辻野議長から第4号議案について質問を求めたが質疑なく、議長は拍手による承認を求め、拍手多数をもって承認された旨、宣告した。

(5) 第5号議案：2023年度予算案について

辻野議長は、2023年度予算案について経理部長に説明を求めた。

2023年度予算案：上杉経理部長

議案書に基づき予算案の説明があった。追加事項特になし。

2023 年度予算案について説明を受けたのち、辻野議長から第 5 号議案について質問を求めたが質疑なく、議長は拍手による承認を求め、拍手多数をもって承認された旨、宣告した。

(6) 第 6 号議案：一般提出議題について

辻野議長は、事務局に一般提出議題の説明を求めた。

嶋田事務局長から、総会 10 日前までに一般提出議題の提出が事務局より 1 件あることが報告された。

長年顧問に就任されていた松尾収二先生が 3 月末を持って退任されたことに伴い、後任に天理よろづ相談所病院 上岡樹生先生へ委嘱することについて承認をお願いしたいということが説明された。

辻野議長より、事務局からの提出議案について 質問を求めたが質疑なく、議長は拍手による承認を求め、拍手多数をもって承認された旨、宣告した。

辻野議長より会場の出席者に緊急動議の有無が確認されたが無く、第 6 号議案の審議の終了と本日の審議事項が全て終了したことを宣告した。

VII 総会役員及び書記の解任

辻野議長から、総会役員及び書記を解任する旨の通告と、協力への謝辞が述べられた。

VIII 議長挨拶

辻野議長から、議事の進行の協力に対し謝意が述べられた後、自らを解任する旨宣告した。

IX 閉会の辞

森嶋副会長から、一般社団法人 奈良県臨床検査技師会 2023 年度定時総会の閉会宣告が行われた。

以上、式次第はすべて終了し解散した。

2023 年 5 月 28 日  
一般社団法人 奈良県臨床検査技師会

会長 倉田 主税

監事 吉岡 明治

監事 西浦 宏和